

中学校区におけるめざす子ども像 失敗を恐れずに自分で考えて決断できる子～自分からチャレンジ！そして未来を切り拓く～

## 令和8年度 重点目標

学校教育目標の「自分らしく輝く子ども」を「自ら問題を発見し、仲間とともに解決しようとする主体的な子ども」と捉え、誰一人取り残さない安心・安全で楽しい学校、それぞれの**もちあじ**を大切にしている学校をめざし、「『自分で学びを進める』と『互いを理解する』『自分からチャレンジする』」を本年度も重点目標とする。そのため、教職員が子ども理解に努め、子どもが自ら学びをつくる授業の実現をめざし、問題解決的な授業を行うとともに、お互いを理解し支え合う仲間づくりに取り組む。学校全体で課題解決の実現に向かうため、教職員もお互いを知り、学年、各分掌、キャリア等で協働できる職場づくりを行う。自ら学び、発信し、お互いが学び合う人が育つ好循環をつくる。

**学びの現状**・全体として、本校児童は国語・算数を中心に全国平均を上回り、基礎的な知識・技能に加え、読み取りや発表、数量の関係を考える力など、多くの面で着実に力を伸ばしている。特に、根拠を明らかにして自分の考えを書く力や、相手意識をもって表現する力が育っている。無回答率の低さからも、ねばり強く学びに向かう姿勢がみられる。一方で、「理由を明確にして書く力」や「文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力」「データを読み取り整理する力」「割合の理解」などには課題も見られる。今年度は、子どもたちに付けたい力を教員と子どもが共有し、見通しをもって学習に取り組むことを大切にしていける。学びを振り返る活動を継続的に積み重ね、学びを確かな力として定着させる。特に、振り返りを「書く」ことを重視し、自分の考えや学びの過程を言語化することで、思考の深化と主体的な学びの実現をめざす。

**「豊かな心・健やかな体」の現状**「ナイスランニング」や「リズム縄跳び」などの取組を通して体力向上を図っているが、全体として体力が十分に高いとは言えず課題が見られる。一方「地域や社会をよりよくするために何かしてみたい」と考える児童の割合は高く、人が困っているときに進んで助けようとする、約束を守る、「学校が楽しい」と感じている児童の割合も高い。「自分にはよいところがある」と感じている児童も多い。しかしながら、友だち関係への満足感や、将来の夢や目標を明確にもっている児童の割合は十分とは言えない。今後は、自分の「もちあじ」を実感しながら他者と協働する活動を充実させ、自己有用感のさらなる伸長をめざしたい。

項目	中項	具体目標	評価項目 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	実状:実施状況…2月 学ア:学校アンケート…1月 児(教)育は児童(教師)の肯定的回答	評価方法	評価時期	進捗確認(～12月)		達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価		
総合的な学力	自分で学びを進める子	個別・最適な学び協働的な学び授業改善	【学習内容の定着】 朝の学習で、ドリルパーク等を用いて基礎・基本を定着させたり個々に合わせたりして学習を進める。また、読書をする習慣を確立する。	ドリルパークも活用し、自分にあった復習を行う。本の借り換えや学級図書書を実施させ、常に本が手に取れる状況にする。 テーマ・必要に応じ、関連する本を学年書籍として廊下に準備する。	実状	2月					
			●【思考力・判断力・表現力の伸長】 子ども自身が「何を、どう学んだか」をメタ認知して自らの「学びを自覚化」することで、次の課題に対しても主体的に思考し、自分に合った学び方を判断・表現して問題解決に向かう力を育成する。	算数の勉強は好きですか【児育】75%以上 問題をとく時これまでに習った事が使えないか考えている【児育】80%以上 見通しを自分で考え、自分の学びを振り返っている【児育】80%以上	学ア 実状	1月 2月					
			★【主体的な学び】(学校群で行う) 単元単位でねらいを明確にもち、問題意識の醸成・見通しを大切に授業づくりを進めることにより、子どもも教師も主体的な学びづくりに取り組む。学校群の取組を進める。	問題をとく時これまでに習った事が使えないか考えている【児育】80%以上 見通しを自分で考え、自分の学びを振り返っている【児育】80%以上 単元単位でねらいをもち「子どもが進める授業」を行う。 中学校群推進のための組織を編成し、部会ごとに取り組む。	学ア 実状	1月 2月					
			【家庭学習】 自主学習ノートに取り組むことにより、興味・関心を広げたり学んだことを深めたりする。自主学習ノートの取り組みを紹介する場を設定する。	各学年の実態に合わせ、全学年で週1回程度自主学習ノートに取り組む。 普段から調べてみたい、なぜだろうと思うことがある【児育】80%以上 自分で計画を立てて勉強していますか【児育】70%	実状 学ア	2月 1月					
			【児童のPCの活用】 さまざまな場面で児童用タブレットを使い、堺市情報能力チェックリストをもとに各学年情報活用能力の伸長を図り、効果的に活用できるようにする。	週3回以上、授業で児童が1日10分以上PCを活用する。 高学年児童は、月1回以上持ち帰りをを行う。 堺市情報活用能力チェックリストを元に、各学年で設定されている情報活用能力(情報モラル(学年1回以上)を含む)の取組を実施する。	実状	2月					
			●【カリキュラムマネジメント】 調べたい課題を持ち、さまざまな調査方法で調査し、わかったことや思ったことを発表する活動を行う。 学んだことが生かせるように工夫をする。	生活・総合的な学習の時間が好きですか【児育】80%以上 子どもの問題意識を大切に探究のサイクルを回す。 自分から積極的に英語を使って話してみようと思う【児育】90%以上	学ア 実状	1月 2月					
豊かな心・健やかな体	心身共に逞しい子	体力向上	【体力づくり 持久力・コア向上】 20分休憩の体力づくりを児童が主体となって年間を通して実施し教職員もともに参加する。特に、持久力向上のための取り組みを行う。	体力づくりに進んで参加している【児育】85%以上 外で体を動かすことは好きですか【児育】90%以上	学ア	1月					
			【健康な体づくり】 生涯にわたり健康で活力ある生活を送るために、望ましい健康的な生活習慣を心掛け、健康を管理する能力を形成する。 栄養教諭と連携して各学年で食育の実践を行う。	ICT教育の推進に伴う視力低下防止として、学習効果と健康の両立が図れるように保健指導などによる啓発を3年生と委員会活動で行う。 栄養教諭とともに食育を各学年1回以上行う。 食べ物のことや食べ方について知ることは楽しい【児育】80%以上	実状 学ア	2月 1月					
	生活をよりよくしようとする子	安心安全な学校・学級	【いじめ・不登校】 一人ひとりにあった「居場所と出番」のある学級集団をつくる。いじめが起った際には、いじめ対策基本方針に則り適切に対処する。普段から子どもの話を聞き、不登校防止に取り組む。教育相談を申し込みやすい環境づくりを推進する。	生活をよりよくするアンケートを年3回実施する。 年3回アンケート回答について、全ての子どもの思いを尋ね対応する。 子どもの状況を子ども支援委員会で共有し必要に応じ相談につなぐ。 困った時だれかに相談しやすい【児育】70%	実状 学ア	2月 1月					
			【異学年交流】 全校で縦割り活動、清掃活動、異学年による関わりの機会を増やし、自己有用感を育む。キャリアパスポートを活用し自分のよさに気づけるようにする。	自分にはよいところがある【児育】80%以上 どの学年も異学年交流に取り組む。 子ども自身が自分の成長を振り返られるようにキャリアパスポートに取り組む。【教育】80%以上	実状 学ア	2月 1月					
			【よりよい生活】 「みそあじ」を合言葉に、履物そろえ・自分からあいさつ・正しい廊下歩行に取り組む。実行委員会や係活動・委員会活動で自分でできることを考え、自分から取り組む。	学校のきまりを守っている【児育】80% みんながよりよく生活するために行動している【児育】85%	学ア	1月					
	仲間を理解し支え合う子	違いを認める仲間づくり	【人権教育】 自国の文化だけでなく他国の文化、自分以外のものの考え方に触れたり、男女平等の取組、自分とは違う考え方に触れたりする機会をもち、自分らしさも大切に、友だちも大切に。また、マイノリティの意見も大切に。「ふわふわの木」を作成し、ふわふわ言葉が日常的に使われる環境をつくる。 自分の「もちあじ」を知り、自他の「もちあじ」を認め合う	ふわふわ週間に進んでふわふわ言葉を使っている【児育】80%以上 普段から、ふわふわ言葉をつかっている【児育】85%以上 クラスの友だちや先生など他の人の事をもっと知りたいと思う【児育】80% 自分とは違う考えをうけ入れることができる【児育】85%以上 他の国の文化に触れる機会を年1回以上もつ。 他の国の文化や行事を体験し、異文化のよさを感じる【児育】80% 人権の時間を中心に各学年、年1回以上の「もちあじ」学習を実施する。	実状 学ア	2月 1月					
【特別支援教育】 それぞれの個性に気づき、違いを認め合える機会として、支援学級との交流会、啓発授業を行う。			まわりにこまっている人がいる時、自分にできることはないかを考えている【児育】80%以上	学ア	1月						
する子	地域を愛	地域協働	【地域を知る】 子どもの思いを大切に学校行事や児童会行事を行う。 地域のよさを感じることが出来る機会を大切に。	この学校・地域が好き【児育】90%以上	学ア	1月					

校長より(年度末)	学校関係者評価から(年度末)
-----------	----------------